



今月の題字

坂本 柊也君
(轟木小3年)

町のわたし

町内小中学校でカキの養殖体験 働くことの大切さを学ぶ

町内小学校では、4月から6月にかけてカキの養殖体験を行いました。これは地域の産業と自然のかかわりを理解しようと、山田南小と山田北小、大沢小、豊間根小、荒川小の5校で実施されたものです。このうち山田北小の5年生18人は5月29日、町水産センターで収穫作業を行いました。子供たちは海から揚げたばかりのカキを岸壁に運び、殻に付いた海藻などを取り除いた後、カキむきに挑戦。慣れない作業に戸惑いながらも、働くことの大切さを肌で感じていました。



荒川小児童が「かがやき訪問」 昔遊びなどで交流を深める

6月22日、荒川小学校(佐々木^{しゅうせい}修正校長・児童37人)の1、2年生10人による「かがやき訪問」が行われました。これは、同校児童と地域住民との交流を図るため7年前から活動しているもので、会場となった白山コミュニティセンターには地区の住民16人が来場しました。児童の歌の発表と自己紹介に続いて1年生は遊戯「ケン、ケン、パー」、2年生は朗読劇「タンポポのちえ」を披露。続いておはじやかかるたなどの昔遊びを地区の皆さんと一緒にいき、共に楽しい時間を過ごしていました。



民謡東北大会で3位の佐々木ゆみ子さん(写真中)と入賞を喜ぶ山田民謡伝承会の新保公さん(写真左)、阿部賞会長

民謡東北大会で船越の佐々木さん 「外山節」を歌い3位に入賞

第9回民謡民舞東北春季大会で、梅宴の部(三味線伴奏)に出場した佐々木ゆみ子さん(船越・50)が3位に入賞しました。大会は5月17日に仙台市で開かれ、同部門には東北6県から40人が参加しました。佐々木さんは今回初めて披露するという「外山節」で出場。所属する山田民謡伝承会(阿部^{みのる}賞会長)の指導者である新保^{いさお}公さんの指導を受けて声を磨き、初出場で見事3位入賞を果たしました。佐々木さんは「民謡が一番の楽しみ。これからも岩手の歌を歌っていきたい」と話していました。

